

令和7年度

後期高齢者の適正服薬支援に関する三師会合同研修会

日時 令和7年 **10** 月 **1** 日 (水) 19:00 ~ 21:00

場所 鹿児島県医師会館 3階中ホール1 (鹿児島市中央町8-1)

・説明「適正服薬支援に係る取組について」

鹿児島県後期高齢者医療広域連合

・取組報告「適正服薬支援に係る県薬剤師会の取組」

鹿児島県薬剤師会

・会場講演「地域におけるポリファーマシー対策の推進に向けて」

東京都健康長寿医療センター 理事長 兼 センター長 秋下 雅弘 先生

内容：高齢者の薬物療法におけるポリファーマシーの特徴、
多職種がどのように連携して服薬支援を進めていけばいいか 等

・質疑応答

対象者：医療従事者、行政関係者（オンライン参加：1,000施設、来館者の場合：定員100人）

開催方法：集合形式とZoomを用いたオンライン形式の併用開催

■オンライン参加される場合（先着1,000施設）

オンラインでの参加に際しては、必ず以下のURLにアクセスいただき、
事前の参加登録をお願いいたします。※当日は、18時30分よりオンライン開場。



こちらからも登録できます
(事前登録先QRコード)

【事前登録先 (Zoom ミーティング)】

<https://zoom.us/join/registration/DqgRUJ6MTvG1S4sofS3LeQ#/registration>

- ・登録が完了しますと、登録したメールアドレス宛にZoom参加用のURLが自動送信されます。
- ・講師への**事前質問**がある場合、**8月29日**までに事前登録を完了させてください。
- ・研修会の**配布資料**は、登録したメールアドレス宛に、ダウンロード用URLを掲載したメールを**9月29日**に配信しますので、そこから適宜ダウンロードしてください。
- ・多数のご参加が想定されますが、安定した配信環境を確保するため、オンラインでの参加は、登録者数(接続PC台数)は各施設「1」を上限としております。複数の申込が確認された場合は、登録を削除させていただきますことがあります。
- ・申込上限は、1,000施設となります。応募多数の場合は、登録できない可能性があります。

■来館される場合（定員100人）

来館での参加に際しては、下記の参加申込書に必要事項をご記入いただき、**9月19日(金)**までに広域連合までFAX送信をお願いいたします。(FAX送信先：099-206-1395)

共催：鹿児島県後期高齢者医療広域連合・鹿児島県医師会・鹿児島県歯科医師会・鹿児島県薬剤師会

問合せ：鹿児島県後期高齢者医療広域連合 業務課保健事業班 (TEL:099-206-1329)

広域連合業務課保健事業班 行き (FAX:099-206-1395) **来館者申込締切：9月19日(金)**

《参加申込書 ※来館用》 ※連絡先(電話番号)をご記入ください。

所属名	電話番号
氏名	職種・役職
講師への事前質問 (ご質問がある場合は、 8月29日(金) までに送信してください)	

令和7年度後期高齢者の適正服薬支援事業に関する三師会合同研修会 開催要領

1 目的

本県の実情に即した適正服薬支援体制を構築し、重複服薬等による薬物有害事象等の発生防止による被保険者の健康の保持増進のために、県内での動きやポリファーマシーの予防等について、医療機関や行政・介護関係者等の関係者間で情報共有を図ることにより、適正服薬に係る地域での連携体制づくりや支援の一助とする。

2 主催・共催

主催：鹿児島県後期高齢者医療広域連合

共催：鹿児島県医師会、鹿児島県歯科医師会、鹿児島県薬剤師会

3 日時

10月1日（水） 19:00～21:00

4 会場・方法（県医師会の機器を借用し、県薬剤師会の ZOOM アカウントを使用）

鹿児島県医師会館 3階中ホール1

来場（100名まで）及びインターネットオンライン中継のハイブリッド方式で実施

5 対象

医師、歯科医師、薬剤師、看護師、保健師、介護支援専門員等高齢者の服薬支援に関わる専門職等

6 会次第

- | | |
|---------------------------|-------------|
| (1)開会（挨拶） | 19:00 |
| (2)説明「適正服薬支援に係る取組について」 | 19:05～19:20 |
| 鹿児島県後期高齢者医療広域連合 業務課保健事業班 | |
| (3)取組報告 適正服薬支援に係る県薬剤師会の取組 | 19:20～19:40 |
| 鹿児島県薬剤師会 | |

(4)講演：「地域におけるポリファーマシー対策の推進に向けて」 19:45～20:55

（講演60分、質疑応答10分）

- <希望する内容等>
- 高齢者の薬物療法におけるポリファーマシーの特徴
 - ポリファーマシー対策推進に向けた国の動き
他都道府県での地域ポリファーマシーコーディネーターの設置運用の状況
 - ポリファーマシー対策を進めていくために
地域において多職種が連携して服薬支援を進めるときのコツ 等

講師：秋下 雅弘 先生

地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター 理事長兼センター長

※ 講師は厚労省の高齢者医薬品適正使用検討会の構成員として中心的立場にあり、「高齢者の医薬品適正使用の指針」を策定にも携わっている。

(5)閉会

7 その他

- ・広域連合から各団体会長宛てに案内し、各団体から会員へ周知及び来場希望者の集約を依頼。